

2012.3発行

60号

広報アイデア委員会

きょうたなべ のうぎゅう季員会だよい



写真「おんごろどん&とんどさん」
解説は②ページ
〔写真提供：堀江幸和委員〕



② 伝統行事「おんごろどん」

- ② 市産業祭で付加価値の大切さをPR！
- ③ 農地パトロールを実施／賃借料情報の提供
- ④ 羽咋市視察研修の報告
- ⑤ 全国コンクール優秀賞の報告／昔ことばクイズ
- ⑥ 村農村紹介（松井）／朝市へ行こう！

表紙解説



みんなで もぐらたたき？！

実は…豊作を願う奇祭です。



宮ノ口・江津地区で、約500年前から受け継がれている豊作祈願のモグラ追い行事をご存知ですか？
毎年、小正月の前夜に地元の男児が、ワラを束ねたバット状の横槌と呼ばれる棒を持ち、各家々の庭先を叩いて回り、農作物に被害を及ぼす外敵であるモグラ（おんごろ）を追い払う行事です。

その際、「おんぐろどん うちか（家にいるのか）。横槌どんのおんまいじや（お見舞いするぞ）。おーまけおまけもひとつおまけのおまけ！」という『モグラうち送りの歌』を合唱しながら地面を何度も叩き、豊作を祈願します。

使用する横槌は、毎年、各家で太いツルを芯にワラを巻き、縄で締め上げ持ち手を作つて製作し、行事の前には、地元の白山神社にお供えしてお参りします「表紙写真下」。

行事が終われば翌日、左義長（どんど）で焼き払います「表紙写真」。現在では、1月の第2日曜日の夜に行われているので、来年は是非見に来てくださいね。

（寄島弘委員）

おんぐろどん

宮ノ口・江津地区で、約500年前から受け継がれている豊作祈願のモグラ追い行事をご存知ですか？

毎年、小正月の前夜に地元の男児が、

育館周辺で開催された産業祭に農業委員会のブースを出展、併せて、農業者の相談窓口を開設しました。

委員会の活動PRとして、解消した耕作放棄地で収穫した材料で、餅、米粉、あんぱんを製造販売し

たところ、あつという間に完売し、売り役の私達も非常に充実した時聞でした。更に、会場ではつき建ての餅に、きな粉や抹茶をまぶして来場者に振る舞うと、行列がで

き大盛況の賑わいでした。

特に米粉や、米粉で作ったあん

ぱんは、販売としての成果は十分

にありましたが、まだ一般的に馴

染みはなく、普及されていないこ

ともあり、遠く丹波まで出向いて

製粉しなければならない裏方の大

変な苦労もありました。

産業祭を通して、第1次産業が

から第6次産業へ付加価値を高めた

加工製品を見て頂けたのではない

かと思います。昨今の農業情勢は、

TPP問題やブランド作りなどの

幾多の課題を抱えていますが、

儲かる農業を目指して、皆さんと一緒に知恵を出し合い頑張っていきたいと思います。

（香村侃彦委員）

市産業祭で付加価値の大切さをPR！

昨年11月3日文化の日、中央体育馆周辺で開催された産業祭に農業委員会のブースを出展、併せて、農業者の相談窓口を開設しました。

委員会の活動PRとして、解消した耕作放棄地で収穫した材料で、餅、米粉、あんぱんを製造販売し

たところ、あつという間に完売し、

売り役の私達も非常に充実した時

聞でした。更に、会場ではつきだ

ての餅に、きな粉や抹茶をまぶし

て来場者に振る舞うと、行列がで

き大盛況の賑わいでした。

特に米粉や、米粉で作ったあん

ぱんは、販売としての成果は十分

にありました

がまだ一般的に馴染みはなく、普及されていないこ

ともあり、遠く丹波まで出向いて

製粉しなければならない裏方の大

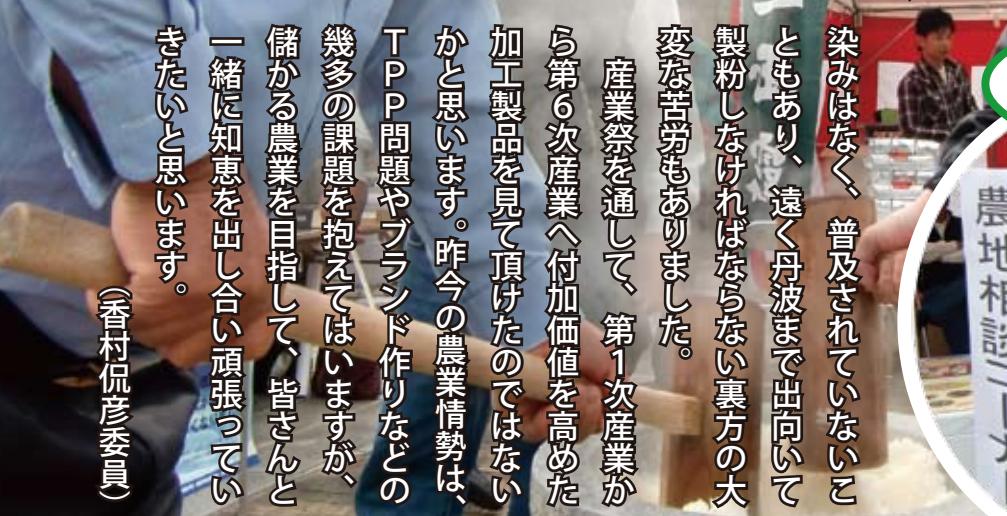
変な苦労もありました。

産業祭を通して、第1次産業が

から第6次産業へ付加価値を高めた

加工製品を見て頂けたのではない

かと思います。昨今の農業情勢は、



農地パートナーを実施！

農業委員会では、昨年12月19日、「地域の農地と担い手を守り活かす運動」の一環として、前年度、農地転用及び所有権移転について許可された箇所を中心に、市内全域の調査を行いました。本調査は毎年行っており、本年度については、おおむね目的どおり適正利用されていましたが、耕作放棄地は依然として存在します。

平成21年に改正農地法が施行され、『農地の利用者は、農地を適正かつ効率的に利用しなければならない』との責務規定が設けられました。遊休農地は、火災や病害虫の発生原因となり、近隣の住民や農地へ悪影響を及ぼしますので、農地の適正な利用をお願いします。

なお、農地の貸付を希望される場合は、地元農業委員、または農業委員会事務局までご相談ください。



中村英夫委員
(農地部会長)



利用権設定

ご存知ですか？

農地の貸し借り
安心簡単！

貸し手のメリット

- 期限がくれば必ず返還！
- 離作料の支払い不要！
- 不在地主でも貸せる

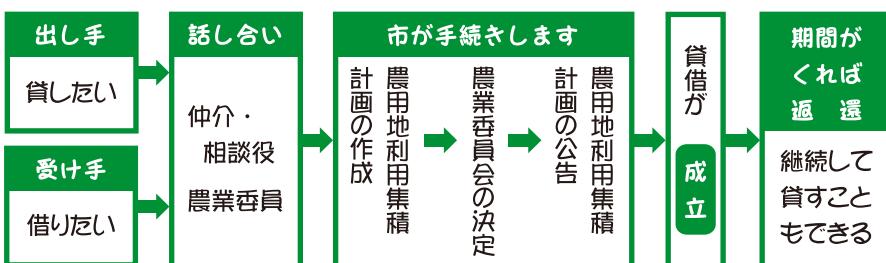
借り手のメリット

- 期間中は安心して耕作できる
- 更新しての継続耕作も可能

利用権設定とは、農業経営基盤強化法に基づく農地の貸借で、農業委員会の決定を経て市が公告します。農地法の許可が不要で手続きも簡単です。また、農地法改正に伴い、相続税の納税猶予対象地でも貸付が可能となりました。(旧制度で猶予を受けられている場合は、貸付により「20年免除」から「終身利用」に変更されますのでご注意ください。)

手続き方法

貸し手・借り手の話がまとまれば、農業委員会事務局に申請書をご提出ください。貸し手・借り手が見つからない場合は、地域の農業委員(利用調整推進員)にご相談ください。



注意！

次の人が、農地は当制度を利用できません。

- 非農家
- 利用権設定後の耕作面積が3反未満
- 小作地
- 市街化区域内農地



農地法第52条の規定に基づき、農地法および農業経営基盤強化促進法により賃借された実勢の賃借料を集計したものを情報提供しますので、賃借料を決定する際の判断材料としてご活用ください。
なお、「賃借料情報」は実勢の集計値であり拘束力はなく賃借料決定の参考として提供するものですが、実際の契約の際に貸し手と借り手の両者でよく協議したうえで締結してください。

農地の賃借料情報を お知らせします

特産化について学んできました！

石川県羽咋市には限界集落から脱した奇跡の集落があります。かつて高齢・過疎化に歯止めがかかるなかった神子原地区は、米のブランド化に成功したことで、農業所得が3倍にもなり、集落は活気に満ち溢れるまでになりました。その秘訣を学びに行ってきました。

高地で栽培される良質な米、それをどのようにブランド化していくか、ヒントは「神子原」という地名にありました。「神の子」からローマ教皇を連想させ、世界で最も影響力のある人物に食べてもらうという大胆な作戦。バチカン大使館と粘り強く交渉を重ねた結果、献上品の一つに加えて頂くことに成功しました。消費者の「憧れ」の意識を利用したこの作戦は大成功し、10kg、6,500円にも関わらず飛ぶように売れています。

それ以外にも、人工衛星による食味測定、米を使ったお酒の開発、空き農家の斡旋など多岐に渡り取り組まれていました。アイデア力、行動力、そして村を守るという強烈な信念など学ぶところは余りある程あり、非常に実りのある研修でした。

儲かる農業経営を目指すには、行政・農協が中心となって指導することが重要。また、目標を持ち、それに向かって前向きに邁進することが、結果を手にする方法であると思いました。(芝裕一委員)

付加価値の高いものを生み出すには、まず「やる気」が大切。地区に合ったことを少しずつ積み上げ進めていき、更には、市全体で取り組むことが必要であると思いました。(松本好次委員)

問題を正しく捉え、解決に向けた一連のストーリーを作り、着実に実践された熱意に対して感銘を覚えるとともに、大胆な発想もやれば実現することを強く見せつけられた思いです。本市の委員会も、関係先を巻き込みながら、まず一步を踏み出すことが大事だと考えます。(喜多義治委員)



農業委員のみなさんらとアイデアを出し合い、玉露・田辺ナスなど特産品を軸に農業振興の新展開を図っていきたいです。

(石井明三市長)

研修日：2011/11/16

私たちの作った広報紙が全国2位になりました！

農業委員会では、荒廃農地を解消し、『特産を生かした継続的な儲かる農業』を目指して一丸となって日々活動しています。こうした時期に、本市の広報紙が、京都府代表として出品参加した「第18回農業委員会だより全国コンクール」において優秀賞（2位）に選ばれました。これも、日頃の委員会活動の実績と、広報委員会のアイデアの賜物だと興奮しています。

これからも、儲かる農業、魅力ある農業の探求を続け、広報紙などを通じて発信していきたいと思います。そして、読者の中から、一人でも、農業を志す若者が現れることを切に願い、その弾みをつけるためにも、我々は日本一の広報紙を目指して頑張ります！

（林善嗣会長）

優秀賞

全国コンクール

アイディア十勇士

受賞作品はHPでもご覧いただけます！



農に関するネタ大募集!!

- ・ユニークな形の野菜が採れました
- ・私だけのオリジナル栽培方法
- ・美しい棚田の風景写真
- ・特産化に向けての提言
- ・その他、自慢話でもなんでもOK！

送り先は農業委員会事務局まで！
(応募方法はメール・郵送・持参にて)

これからも市の農業を面白く、親しみやすく情報
満載でお届けします。
皆さまからの情報、お待ちしております！

農業委員が丹精込めて作った

おいしい

お茶味噌



クイズに答えてもらっちゃおう！

京田辺では今でも年輩者の間で使われている「昔ことば」があります。

あなたはいくつわかりますか？

全問正解者の中から3名様にお茶＆味噌をプレゼント！

問題

ヒント

①はめ

»»» 耕作放棄すると出現するかも？

②あも

»»» 産業祭で大盛況

③のえ

»»» 我々はパトロールしています

④ながたん

»»» ケガしないでね

⑤ちょうつくばる»»»

どっこいしょ

<応募方法>

①～⑤のクイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙へのご意見・ご感想（ネタでもOK）をご記入のうえ、メール・郵送にて下記の応募先までお送りください。なお、持参されても結構です。

<応募先>

郵送：〒610-0393

京田辺市田辺 80

農業委員会事務局 宛

メール：nougyo@kyotanabe.jp

（件名には「昔ことばクイズ」と記入してください。）

<応募期限>

平成24年4月30日まで（当日消印有効）

<その他>

正解者多数の場合は抽選になります。クイズの正解と当選者は、次号で発表します。



松井地区

市の北端に位置し西部には第二京阪道路、南部には平成28年に開通予定の新名神高速道路が計画されており、今後ますます市と全国を結ぶ交通の要所になると思います。また、山手においてはJR学研都市線、山手幹線等により交通の利便性が高いことから、大型店の出店、高層マンションの建設が進み、市内でも発展著しい地域の一つとなっています。